

## 十勝農業の今を知り 未来を読み解く

## 野良イモ対策に「雪踏み」有効

収穫しきれなかったジャガイモが雑草化する「野良イモ」対策について、農研機構道農業研究センター（芽室）の下田星児上級研究員らは、効果的な「雪踏み」と輪作体系の維持に関する研究成果をまとめた。少雪時は高頻度で圧雪しないなどの条件で行えば、秋まき小麦のほ場でも可能で、収量の確保とも両立できるとしている。

野良イモ対策では、除雪して畑の地表を露出させる「雪割り」が一般的。輪作体系ではジャガイモの後に秋まき小麦を作付けすることが多いが、雪割りは越冬中の小麦の葉を傷つけるために適さなかった。

雪踏みは、畑に積もった雪を圧雪して土壌の凍結を促す方法。断熱材の役割になる雪を圧雪して空気を除き、熱伝導率を高めて土壌の凍結を促す。

下田さんは、芽室町の同センターのほ場で2013年から5年間、異なる積雪条件で作業回数を変えながら雪踏み試験を実施

した。その結果、深さ8センチに埋めた野良イモについて、雪踏みしない場合の発生率が50〜100%だったのに対し、年1〜3回圧雪した場合の発生率は0〜7%に抑えることができた。

特に深さ8センチの地温が氷点下3度以下、凍結深が30センチ以上に達した年は、野良イモの防除効果が高かった。一方で、雪が多い年で雪踏みしても積雪が30センチ以上のケースでは防除効果は弱まる傾向になった。積雪が少ない年の圧雪は、小麦へのダメージや急激な地温低下で初期生育が遅れる可

能性があるが、それ以外の条件下では収量の減少はなかった。下田さんは「野良イモ対策は麦の上ではできないと言われてきたが、効果があると分かった。きたほなみ、ゆめちからでも品質は大丈夫で収量は確保できた」としている。

管内では道総研十勝農業試験場（芽室）などでも雪踏みの効果の検証が進み、生産者向けの研修会が開かれている。



秋まき小麦の畑でも野良イモ対策の効果が実証された、雪踏み作業（写真は道総研の検証実験、芽室町）



野良イモ対策として一般的に行われてきた雪割り作業の様子（帯広市）。トラクターで雪を除けて畑の地表を露出させる

# ドローンやブームスプレーヤでの散布に適した、 葉面散布肥料 ハイ・P

広い圃場を  
何往復もせずに  
散布完了！

## 高濃度散布が可能

高濃度（50〜250倍希釈）で散布しても肥料あたりしないので、ドローンやブームスプレーヤの作業時間・運転距離を削減できて経済的です。

※状況により適切に調節してください

## 微量要素配合

鉄・銅・亜鉛・マンガン・ホウ素・モリブデン・硫黄が含まれています。

## 高リン酸成分

収量アップが期待できます。

## 展着剤入り

細葉の野菜（ネギ・玉ネギ・ニンニク等）にも効果的に散布できます。

## 農薬との併用が可能

殺菌・殺虫剤と混用可能です。



チッ素 リン酸 カリ  
**10 - 45 - 10**

**モニター募集中！ 限定5名様（抽選により選考） 締切：2019年12月20日**

ドローンまたは、ブームスプレーヤを使用することが可能な方限定で、「葉面散布肥料・ハイP」のモニターを募集いたします。条件として散布の際に弊社担当者を同行させてください。ご興味のある方は、まずは下記まで、住所・氏名・電話番号・散布を予定している作物・圃場の広さ・「農業TOKACHI・ハイPモニター希望」と明記の上、メールもしくはFAXにてお申込み下さい。

メール [info@fukuseeds.co.jp](mailto:info@fukuseeds.co.jp) FAX 0776-52-0258

【お客様の個人情報について】ご応募頂いたお客様の個人情報は、商品送付や商品情報の提供など、弊社の個人情報保護方針に基づき適切な管理・運用・取り扱いを致します。



**福井シード株式会社**

〒910-0842 福井県福井市開発5丁目2004番地  
<http://www.fukuseeds.co.jp> TEL.0776-52-0262